

## 剣道「二段」

- 1 「稽古で心がけなければならないこと」とはどのようなことか述べなさい。
  - (1) 竹刀の点検、準備運動、整理運動をはじめとした安全面に留意する。
  - (2) 大きな目標や研究心をもって取り組む。
  - (3) 礼儀作法を重んじる。
  - (4) 立ち会いの「打太刀」を大事にして、一本一本をおろそかにしないように、常に旺盛な気力で精魂を込めて稽古をする。
  - (5) 基本を忠実に稽古をする。
  - (6) しかけていく技を積極的に使って稽古をする。
  - (7) 稽古後は反省し、工夫・研究を怠らない。
  
- 2 「切り返しの目的」を述べなさい。

切り返しは、正面打ちと連続左右面打ちを組み合わせ、基本動作を総合的に練習するためのものである。切り返しのなかで、姿勢と構え、打ちの刃筋や手の内の作用、足さばき、間合いのとり方、呼吸法、さらに強靱な体力や旺盛な気力を養い、気剣体一致の打突の習得を目的とする。
  
- 3 「打ち切る」について説明しなさい。

相手の行動をよく観察し、判断して、相手の隙を発見するや否や直ちに勝ち負けの意識を捨てて全力で打突することである。